

# 令和5年度東北地方発明表彰について

令和5年10月3日

各地方における発明の奨励・育成を図り、地域産業の振興と科学技術の向上に寄与することを目的として対象10年に開始されたものです。全国を8地方に分け、各地方において優秀な発明(考案、意匠)を完成した発明者(考案者、意匠創作者)を表彰します。今年度は、本県から下記のとおり受賞が決定しました。

受賞名	受賞者	発明名称	区分	概要
1 中小企業庁長官賞	株式会社シンテック 代表取締役 赤津 和三	骨折固定用中空ワイヤ	特許	骨手術などにおける骨固定用ケーブルによる締結時或いは締結後に経時的にケーブルの緩みや捻れが起こるといった課題がある。これを解決するため、生体適合性の高い金属ケーブルに伸縮性、しなやかさを付加するものづくり技術を活用し、高い骨融合環境を実現する体内固定用ケーブルシステムを開発した。骨粗鬆症対応、治療後のQOL向上が期待できる。
2 東北経済産業局長賞	マクタアメニティ株式会社 代表取締役 幕田 武広 国立大学法人山形大学 学術研究員 准教授 野田 博行	農産物判定システム	特許	本発明は、農産物を撮影した可視画像から野菜や果実の「おいしさ」を手軽に評価判定するシステムである。具体的には、スマートフォンやタブレット等のモバイル端末で野菜や果実を撮影して、クラウド(サーバ)に設定したAI処理用域に送り、画像補正・分光を行って、光の3原色であるRGBヒストグラム構成分析を行い、別途構築した、味覚・アミノ酸などのデータベースと照合させながら、瞬時に当該農産物の「おいしさ」を評価判定するものである。本発明を利用することにより、従来、野菜や果実の品質の評価は選果場等に集荷して行う必要があったものが、生産者、中間流通・食品産業等の需要者・小売り事業者等、様々な人々が専門的知識を要せず農産物の品質評価を手軽に行えるようになり、各事業者の利便性・利益の向上に寄与する。
3 一般社団法人福島県発明協会会長賞	株式会社COND電機 取締役会長 近藤 善一 株式会社COND電機 代表取締役 小林 好之	雷放電記録表示付き サージ吸収装置	実用	落雷時には電源線を介して異常電圧、異常電流(雷サージとする)が電子機器や家電製品に侵入して電子機器や家電製品を破壊する。この破壊により正常な企業活動や社会生活に甚大な支障をきたす要因となる。要因の対策には、過電圧、過電流(雷サージ)を吸収する方法が有効で最善の方法である。この対策方法は古くから一般化され、導入効果を上げている。しかし、雷サージ吸収方法は高電圧と高電流が瞬時に印加されるので、侵入速度、吸収電圧と電流値などの閾値設定などに設計上の課題が複雑である為、具現化と製作上可視化することは困であった。本考案はこれらの諸課題を解決した発明である。(可視化防護装置)の考案である。
4 奨励功労賞	加藤 俊哉			【発明奨励に関する功績】 会津若松市少年少女発明クラブが発足した平成6年4月から指導員を務め、クラブ員への創意工夫の啓蒙活動や発明工夫に係る作品創作への指導を行い、科学的発想を育成するとともに、創造性豊かな人間形成を図ることに寄与している。また、令和5年度以降においても、継続して指導員を務める予定である。

《表彰式》 令和5年10月25日(水) 14:00から、ホテルメトロポリタン仙台(仙台市青葉区中央1-1-1 (022-268-2525))  
《問い合わせ先》 一般社団法人福島県発明協会(電話 024-959-3351)

◆◆◆◆◆ 『地方発明表彰』とは ◆◆◆◆◆

- 主催  
公益社団法人発明協会
- 共催  
全国都道府県発明協会(今年度の東北地方の担当県は宮城県)
- 後援  
文部科学省、特許庁、中小企業庁、日本弁理士会、一般財団法人工業所有権電子情報化センター、各経済産業局、
- 表彰
  - 発明等に関する表彰
    - ・特別賞【文部科学大臣賞、特許庁長官賞、中小企業庁長賞、東北経済産業局長賞、公益社団法人発明協会会長賞、日本弁理士会会長賞、県発明協会会長賞】
    - ・発明奨励賞
  - 発明奨励に関する表彰
    - ・奨励功労賞:発明協会事業を通じ、発明の指導、奨励、育成に多年にわたり尽力し、顕著な功績がある方に贈呈

一般社団法人 福島県発明協会  
電話 024-959-3351